

公益財団法人林レオロジー記念財団

大学院生及び大学生の奨学生募集要領

平成 31 年度 大学院生及び大学生の奨学金申請用 [第 6 回奨学生]

1 応募資格

- (1) 未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI 技術・IT 技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理学部系の大学院生および大学生、若しくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系等の大学院生および大学生を対象とし、かつ次の①から③の条件をすべて満たしていることが必要です。
- ① 平成 31 年 4 月に大学 3 年若しくは大学 4 年に進級する人、または、大学院前期 (修士課程) の 1 年生に進学を希望する人若しくは大学院前期 (修士課程) の 2 年生に進級する人。
 - ② 品行方正で学習意欲の高い人。
 - ③ 学業成績が一定水準以上の人。
- (2) 前年度応募者および前年度奨学生であっても、応募資格を有するものとします。
- (3) 他の奨学金制度に応募し、又は他の奨学金制度を現に利用している場合であっても、応募資格を有するものとします。

2 奨学金

①	給付額	大学院生	月額 50,000 円	年額 600,000 円
		大学生	月額 30,000 円	年額 360,000 円
②	給付期間	学部 3 年生に進級する人	平成 31 年の 4 月 1 日より平成 33 年 3 月 31 日までの 2 年間とします。	
		学部 4 年生に進級する人	平成 31 年の 4 月 1 日より平成 32 年 3 月 31 日までの 1 年間とします。	
		修士 1 年生に進学を希望する人	平成 31 年の 4 月 1 日より平成 33 年 3 月 31 日までの 2 年間とします。	
		修士 2 年生に進級する人	平成 31 年の 4 月 1 日より平成 32 年 3 月 31 日までの 1 年間とします。	
③	奨学金の返還	返還は要さないものとします。		

3 採用人数

大学院生 55 名、学生 35 名程度とします。

4 応募書類 (各 1)

- ① 奨学生願書 (指定用紙)
※ 指定用紙にリンクします。
- ② 自己紹介 (A 4 用紙片面 1 枚)
- ③ 住民票 (家族全員分がわかるもの・戸籍全部事項証明書でも可)
- ④ 成績証明書 (大学院生は、学部の成績と入手できる直近までの成績を提出。)
(大学生は、入手できる直近までの成績を提出。)
- ⑤ 在学証明書
- ⑥ 大学院に進学する予定の応募者は、大学院での専攻課程がわかる合格通知等の写し
- ⑦ 専門課程における研究実績等の報告書 (A 4 用紙 4 枚以内にまとめること)
(研究実績等がある場合のみで結構です：自由記入)

- ⑧ 個人情報の取り扱いに関する同意書（指定用紙）
※ 指定用紙にリンクします。
- ⑨ 大学学長、研究科長、学部長または大学教授の推薦書（必須；指定用紙）
※ 指定用紙にリンクします。
- ⑩ 課題小論文

小論文の課題：AまたはBのどちらか一方の課題を選択し論述してください。

A 労働者人口減少問題への対応策

経済発展における労働者人口減少という問題を科学技術でどのように解決できるか。
作業の自動化・ロボット化・AI技術・IT技術・品質向上・安全性などの未来の研究
テーマで論述せよ

B 未来の食品産業を担う人材のあり方

新しい、食や食品製造機械の研究、開発、発明に携わる人材に求められる資質や能力
（ものの見方、必要な感性、失敗・困難に対する向き合い方等）について論述せよ

字数の制限：750字以上800字以内（原稿用紙2枚にまとめること）

原稿用紙：本財団指定の原稿用紙に自筆で論述すること

※ 原稿用紙にリンクします。

なお、2回以上応募者される方は、前回の小論文の内容とは別の内容で記載してください。

小論文の内容が類似であると判定された場合には、失格となる場合があります。

5 応募人数の制限と応募書類の送付先

各大学の学部毎の応募人数は、4名程度でお願いいたします。

各大学院の研究科毎の応募人数は、4名程度でお願いいたします。

大学毎に一括して、次の宛先に送付してください。

〒320-0071

栃木県宇都宮市野沢町2番地3

公益財団法人 林レオロジー記念財団事務局

6 応募書類の提出期限

平成30年11月30日（金曜日）必着

7 奨学生の選考方法

書類・小論文のみで選考するものとし、面接等を行いません。

選考の結果は、遅くとも平成31年2月20日（水曜日）までに大学学長・学部長・学生課等を経由して本人に通知します。

8 その他

- ① 応募の前に、必ずホームページ（アドレス）等で奨学金制度について詳しい内容を確認してください。
- ② 応募に必要な「指定用紙」はホームページの応募用紙（※リンク先）から適宜プリントアウトしてください。
- ③ 本奨学金を受給したことによる当社への入社等その他の付帯義務はありません。
- ④ なお、募集要領及び応募用紙等に修正が生じた場合は、当財団のウェブサイトに掲載させていただきます。
- ⑤ ご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

〒320-0071

栃木県宇都宮市野沢町2番地3

公益財団法人 林レオロジー記念財団 事務局

電話：028-688-0251

FAX：028-688-0252

E-mail：hayashi_rheology@rheon.com

ホームページアドレス：<http://www.hayashi-rheology.or.jp>

家 庭 調 査 書

申 請 者	所属	_____学群 _____学類 _____年次										
	学籍番号	_____				性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)			
	フリガナ	_____										
	氏名	_____				家族住所	〒 _____ TEL (_____)					
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称	給与所得の収入金額 (税込)	給与所得以外の所得金額			
		父	_____	_____	_____	_____年	_____	_____万円	_____万円			
		母	_____	_____	_____	_____	_____年	_____	_____万円	_____万円		
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (_____ 年 _____ 月) 理由 (_____)										
	主たる家計支持者無職等の場合 時期 (_____ 年 _____ 月) 理由 (_____)											
			_____	_____	_____	_____	_____年	_____	_____万円	_____万円		
			_____	_____	_____	_____	_____年	_____	_____万円	_____万円		
			_____	_____	_____	_____	_____年	_____	_____万円	_____万円		
			_____	_____	_____	_____	_____年	_____	_____万円	_____万円		
	別 居 者 に × 印	就 学 者	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別	通学別	控除額		
本人			_____	_____	筑波大学	国立	_____	※自宅 自宅外	_____万円			
_____			_____	_____	_____	※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 自宅外	_____万円			
_____			_____	_____	_____	※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 自宅外	_____万円			
_____			_____	_____	_____	※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 自宅外	_____万円			
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無									
	障害者がある世帯		※有・無		続柄 (_____) 氏名 (_____) 手帳番号 (_____)							
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (_____ 千円)				認 定					
	アルバイト		月額 (_____ 千円) 内容 (_____)				総収入金額	① _____ 万円				
	奨学金	受給中	月額 (_____ 千円) 団体名 (_____)				必要経費	② _____ 万円				
		申請中	月額 (_____ 千円) 団体名 (_____)				特別控除額	③ _____ 万円				
	その他の収入		月額 (_____ 千円) 内容 (_____)				総所得金額	④=①-②-③ _____ 万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 _____ 人		
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ _____ 万円		
	修得単位数または科目数						家計充足率		⑥=④÷⑤×100			

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。